

研究成果の刊行に関する一覧

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
松本俊彦	第1章 7. マトリックス・モデルとは何か? 治療プログラムの可能性と限界pp, 東京, 2013.	石塚伸一	薬物政策への新たな挑戦 日本版ドラッグ・コートを越えて	日本評論社	東京	2013	80-96
松本俊彦	第2部 第3章 アルコール・薬物依存症と衝動的行動: 暴力、自傷・自殺、摂食障害を中心に	和田 清	精神科臨床エキスパート 依存と嗜癖 どう理解し、 どう対処する か	医学書院	東京	2013	63-78,
松本俊彦	嗜癖と依存,	中谷陽二・ 岡田幸之	シリーズ生命倫理学編集委員会編 シリーズ生命倫理学 9精神科医療	丸善出版	東京	2013	201-227
松本俊彦	松本俊彦: 第2部 青少年 中毒性精神病	鹿島晴雄・ 古城慶子・ 古茶大樹・ 針間博彦・ 前田貴記	妄想の臨床,	新興医学出版社	東京	2013	310-322
松本俊彦	第 部 第3章 素行障害の併存障害 e) 物質乱用	齊藤万比古	素行障害: 診断と治療のガイドライン	金剛出版,	東京	2013	24-133

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Wada K, Funada M, Matsumoto T, Shimane T	Current status of substance abuse and HIV infection in Japan.	Journal of forensic medicine and drug analysis	21	s33-s36	2013
Matsumoto T, Iimamura F, Kobayashi O, Wada K, Ozaki O, Tsumakeuchi Y, Hasegawa M, Imamura Y, Taniyama Y, Adachi Y	Evaluation of a relapse prevention program for methamphetamine-dependent inmates using a self-teaching workbook and group therapy	Psychiatry Clin Neurosci.	68	61-69	2014

谷淵由布子, 松本俊彦, 小林桜児, 和田 清	薬物依存症専門外来における脱法ハーブ乱用・依存患者の臨床的特徴 覚せい剤乱用・依存患者と比較	精神神経学雑誌	115	463-476	2013
松本俊彦, 千葉泰彦, 今村扶美, 小林桜児, 和田 清	少年鑑別所における自習ワークブックを用いた薬物再乱用防止プログラム: その有効性と利用可能性	精神神経学雑誌	115	455-462	2013
松本俊彦	薬物依存患者への疾病教育	日本精神科病院協会雑誌	32	559-566	2013
松本俊彦	薬物依存症臨床における倫理 医療スタッフ向け法的行動指針	精神神経学雑誌	115 第108回学術総会特別号	SS1-9	2013
松本俊彦	薬物依存と発達障害 薬物依存臨床における注意欠陥・多動性障害傾向をもつ成人の特徴	精神神経学雑誌	115	643-651	2013
松本俊彦	6. 物質使用障害とアディクションの精神病理学 「自己治療仮説」の観点から	精神科治療学	28増刊号	46-51	2013
松本俊彦	第 部総論 7) 新しい治療モデル 「底つき」モデルを乗り越えて . 2. 物質使用障害に対するワークブックを用いた治療プログラム	精神科治療学	28増刊号	59-65	2013
松本俊彦	第 部 薬物使用障害 16. 薬物使用障害臨床における司法的問題への対応	精神科治療学	28増刊号	294-299	2013
松本俊彦, 谷淵由布子	脱法ドラッグによる精神障害 vs. 内因性精神病	精神科	23	644-651	2013
松本俊彦	処方薬依存	精神看護	17	12-18	2014
松本俊彦	違法薬物使用を知った医療者に、通報義務はあるのか	精神看護	17	29-36	2014
高田弘子, 日野寛明, 小泉典章	長野県薬剤師会における自殺対策及び過量服薬防止への取り組み 「かかりつけ薬局・薬剤師から関係機関への紹介先リスト」の作成	信州公衆衛生雑誌	第8巻第2号 2013	81-87	2014